

# 橙 和

— TOWA —

Vol.7 2021年度下期号

新潟食料農業大学 大学だより



(新潟食料農業大学第1回卒業式)

## 1 後援会会長あいさつ



新潟食料農業大学 後援会会長  
長谷川 浩司

コロナウイルス感染症の影響はありましたが、今年度は様々な感染症対策を施すことで、ほとんどの授業や実験・実習を対面形式で実施できました。これもひとえにご支援いただきました保護者のみなさまのお力添えのおかげと存じます。この紙面をお借りし感謝申し上げます。

初の卒業生を送り出す年度でありましたが、4年生の卒業論文発表会が年明け1月からのコロナウイルス感染症の急激な拡大の影響を受け、オンラインでの実施となったことは残念な事でありました。同時にすべての学年の授業や実習、定期試験もオンライン実施となりましたが、すべての学生及び教職員の努力があり、大きなトラブルはなく

後期の締めくくりができております。

3月には新潟食料農業大学として初の卒業式を対面形式で挙行することができましたが、卒業生の保護者の皆さまのご臨席は遠慮させていただき、YouTubeを利用したリアルタイム配信をご覧いただく形となりました。また、卒業式後には新潟食料農業大学同窓会設立総会・入会式を開催し、第一期生である卒業生の皆さんにご入会いただきました。また後援会からは同窓会費についてご支援申し上げることと致しております。

4月以降の新年度もまだまだ様々な制限・制約を受ける場面が存在する可能性があります。在学も日々の努力を積み重ねてきており、また新入生を迎え、新たな年度を邁り多いものとしてくれると確信しております。今年度の後援会の活動にも、保護者のみなさまの多大なるご支援、ご協力をいただきました。改めて感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## 2 学長あいさつ



新潟食料農業大学 学長  
渡辺 好明

この3月、新潟食料農業大学は、初の卒業生を送り出しました。

第一期生として、本学の基礎を築き、校風を創ってきた諸君です。「白地に絵を描く」といわれますが、「自分たちの前には道がない、自分たちが歩いて道ができる」さながら、積極的に学び、自由闊達に行動してくれました。

地域に飛び出し、マコモタケの栽培・加工、耕作放棄地の復活、胎内特産サツマイモのネーミング・ブランド化、食と農に関するビジネスコンテストでの受賞優秀などに見られるように、「マーケットインの発想で」「フードチェーン全体を」「地域現場に学ぶ」という教育理念を体現してくれています。

また、課外活動などを通じ、学年を超えた強い絆や交友関係が培われました。社会に出たときに大きな力になってくれるはずで、「食の総合大学」としての財産はしっかりと継承されていると感じます。

また、この2年間は「新型コロナウイルス感染症」の影響により学生たちには様々な制約や制限をお願いすることも多々ありましたが、こうした困難を乗り越えて、建学の精神である「自由、多様、創造」を実践し続けた皆さんの姿に、心からの賛辞を贈ります。今後も、自信と誇りを持ちながら進んでほしいと願っています。

さて、この4月には、大学院修士課程が開設され、食料産業の更なる成長・発展に貢献できる高度専門の人材を育てていきます。また、「食の総合大学」として新たな学部・学科の創設も検討しています。

皆様方には、これまで以上のご支援を賜りますよう心からお願いいたします。



## 1 2021年度卒業式（学位記授与式）について

2022年3月12日（土）に本学では初となる卒業式（学位記授与式）を挙行政いたしました。幸い天候も暖かな一日となり、まさにこれから社会人として巣立っていく本学卒業生の皆さんを祝福するような穏やかな日に2021年度卒業式を行うことができました。コロナウイルス感染症を拡大させないため卒業生と最低限の教職員だけの開催とし、保護者の皆さまにはご臨席いただかず、式典につきましてはYoutubeを通じてのライブ配信でご覧いただくこととなりました。卒業式という晴れの日でございましたが、このような対応を余儀なくされましたことは誠に残念であり、また保護者の皆さまには大変申し訳なく感じております。一日も早くコロナウイルス感染症が終息することを願うばかりです。

また、式典では学生表彰も行われました。新潟食料農業大学で学生生活を過ごした4年間で多くの卒業生の皆さんがたくさんの良い成果を出してくれましたが、特に優秀と認められる成果を達成された学生の皆さんが表彰されました。

すべての式典終了後も、仲間同士や先生方との記念撮影やお世話になった先生方へ卒業生から花束をお渡しして感謝を伝えるシーン等もあり、長時間に渡り別れを惜しむ様子が見られました。

第一期生のみなさんの今後のご活躍を教職員一同、心より祈念しております。



## 2 同窓会設立総会・入会式を開催しました！

卒業式終了後、新潟食料農業大学同窓会設立総会・入会式が執り行われ、第一期生のみなさんの入会及び同窓会会則、役員を選出、2022年度の事業内容等が承認され、同窓会の設立という最初の一步を踏み出すことができました。後援会の皆さまには同窓会支援の一環として卒業生の同窓会費のご支援を賜っており、紙面をお借りいたしまして卒業生ならびに同窓会事務局より謹んで感謝申し上げます。

本年度は会員名簿の作成及び管理、機関誌としての同窓会誌の発行に重点を置き活動する予定です。近い将来にはホームカミングデーの実施や卒業生の皆さんから後輩の在学生のみなさんへ向けての講演等も企画、実施して参りたいと同窓会役員の方々から伺っております。同窓会の事業と活動が新潟食料農業大学の一層の発展につながるものと期待しております。



### 3 新型コロナウイルス感染症対策について



新型コロナウイルス感染症対策本部 本部長

中井 裕

本学では2020年4月8日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、「感染しない・させない」「すべての学生・教職員および地域住民を守る」を原則としたきめ細かい対応にあたって来ました。

2020年度後期からは、講義科目、実験・実習・演習科目のほぼすべてについて、徹底した感染防止策を講じた上で対面形式で実施してきました。

しかしながら、2022年1月の急速な感染拡大に対応するために、冬休み後は学内への立ち入りを原則禁止せざるをえず、授業および年度末試験、また卒業研究発表についてもリモート等で実施して春休みにはいたっております。

なお、本学学生・教職員の感染者は全員無事回復にしており、また幸いにも学内への持ち込みにはいたっておりません。

昨年夏の新型コロナワクチンの職域接種などで、学生の8割以上が2回のワクチン接種を終えております。3回目の職域接種は本年4月に姉妹大学の新潟医療福祉大学にて実施予定です。学生の皆様には、積極的に3回目の接種を受けるようお願いしております。3回接種により、感染時の重篤化回避、クラスター発生危険性の大幅低減がもたらされると考えられています。「感染しない・させない」「自分の命を守る」ためのワクチン接種を推奨しています。

2022年度の新学期を迎えるにあたって、通学予定日の約2週間前に新潟県に入県して健康観察を行うことになっています。2022年度も教育効果が高い対面での講義、実習・実験・演習を実施するために、キャンパス内での感染を避けるよう慎重な対策を続けていきます。

学生・保護者の皆様には、引き続き、多くの制限・制約にご対応いただくこととなりますが、ご理解・ご協力のほど宜しくお願いいたします。

#### 【下期の主な活動について】

- 9月21日(火)
  - ・後期授業開始/対面型授業により授業開始。
- 9月27日(月)～10月3日(日)
  - ・第2回コース希望調査/1年生を対象に、2年次からの選択コースについて希望調査。
- 10月9日(土)
  - ・「インターンシップI」実地研修(1年生)
- 11月7日(日)
  - ・橙和祭(大学祭)実施/学生のみ参加。仮装コンテスト、おぼけ屋敷実施。バンド演奏をYouTubeでリアルタイム配信。
- 12月6日(月)～12日(日)
  - ・第3回コース希望調査(1年生)
- 12月25日(土)～1月10日(月)
  - ・冬季休業
- 1月11日(火)
  - ・後期授業再開/新型コロナウイルス感染拡大の影響で1月の授業についてはすべて遠隔授業で実施。
- 1月25日(火)～31日(月)
  - ・後期定期試験/新型コロナウイルス感染拡大の影響で遠隔実施やレポート提出で実施。
- 2月1日(火)～4日(金)
  - ・卒業論文発表会/遠隔実施。
- 2月1日(火)～7日(月)
  - ・第4回コース希望調査(1年生)
- 2月5日(土)～3月31日(木)
  - ・春季休業
- 3月10日(木)
  - ・成績通知(1年生・4年生)、コース配属通知(1年生)
- 3月12日(土)
  - ・卒業式/第一期生の晴れ舞台
- 3月25日(金)
  - ・成績通知(2年生・3年生)





## 4 キャリアセンター2021年度報告

卒業生の皆様ならびに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

新しい門出を心よりお祝い申し上げます。キャリアセンター一同、皆様のご活躍を祈念しております。第1期生の皆さんは、本学の開学目的を理解され、「食」「農」「ビジネス」と多岐に渡る食料産業界を8割以上の方が選択され、春から食の第一線で活躍されること、頼もしく思います。また、食料産業以外や進学などを選択された皆さんも、それぞれの想いを伺い、心より応援しております。

3年生（新4年生）は、3月1日より企業の求人活動が解禁となり、現在、就職活動が開始されています。この3月を迎えるまでの1年間、就職関連講座を延べ25講座開催。また、11月にはNAFU JOB博と題し、県内企業20社をお招きし、就職講演会、業界職種説明会を開催いたしました。

1年間の準備を経て、就職活動に臨んでおりますので、ご家庭におかれましてもご支援いただきたくお願いいたします。ご家族からの応援が学生の力になるかと思えます。

2年生（新3年生）は、卒業後の進路を検討していただく時期となっております。

1月に進路希望調査を実施させていただき、学生一人一人の希望を確認しました。

春からはそれぞれが希望する進路に沿った支援をさせていただく所存です。

まだ進路について迷っている学生も見受けられますので、ご家庭におかれましてもご子息・ご子女の今後の進路について話題にあげてください、キャリアセンターの利用を勧めただけると幸いです。

1年生（新2年生）は、所属コースも決まり、より専門性の高い学びの場へ進むこととなります。さらにその先に、希望する業界への就職が待っておりますので、将来を見据えて勉学に励んでいただきたいと思います。まだ希望する業種・職種が確定されていない方については、1年後には進むべき道を見つけられますよう、支援をさせていただきますので、お気軽にキャリアセンターをご活用いただければ幸いです。

在学中はもちろんのこと、卒業された後でもお困りのことがあれば、キャリアセンターをご活用ください。



## 5 2022年4月より新潟食料農業大学大学院 食料産業学研究科が設置されます！

新潟食料農業大学は2018年の開学以来、食と農に係る課題の解決に取り組み、実社会に直結する教育・研究および人材育成を通じて地域と国際社会の発展に貢献することを目的とし、成長を重ねてきました。そしてこのたび、昨今の食と農を取り巻く環境の変化に対応し、食料産業のさらなる成長・発展に貢献できる高い研究能力と専門性を有する高度専門的人材をここ新潟食料農業大学から輩出すべく、2022年4月に大学院修士課程を設置します。

### 新潟食料農業大学大学院の概要

- 食料産業学研究科 食料産業学専攻 修士課程
- 2022年4月開設
- 入学定員6名/収容定員12名



新潟食料農業大学  
Niigata Agro-Food University

▶新潟キャンパス 〒950-3197 新潟県新潟市北区島見町 940  
▶胎内キャンパス 〒959-2702 新潟県胎内市平根台 2416